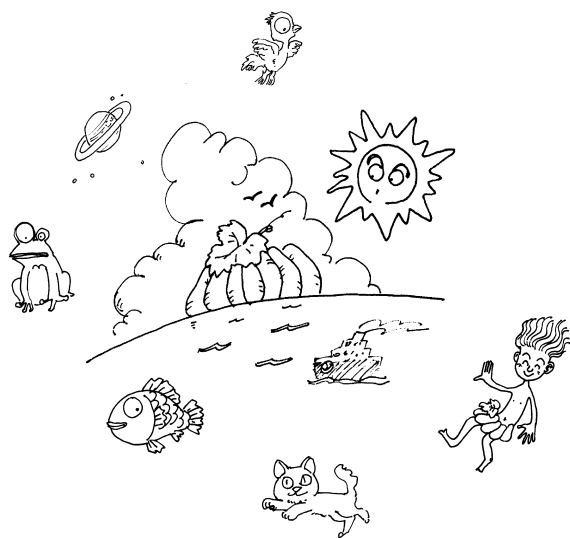


われらが代表、しんがあ そんぐ ていいちゃあ こと しんさん とせみ しんがあ そんぐ ていいちゃあことぐがっち&とのっちの3人が、小学校に招かれて、環境クイズコンサート？をやっちゃったので、その中身をお知らせします！

## 大芝小学校4年生PTC活動 「カボチャ島物語」

とりお しんがあ そんぐ ていいちゃあず



みなさん 今日、おじさんは、今日「カボチャ島」というとっても楽しいところからきました。一応名前があって、竹本といひます。

となりにいるのは、戸野さんといひます。お殿様じゃないよ。そういう名前なんだよ。

もう一人いる人が、久我さんといひます。

今日は三人で、みんなにカボチャ島の話をしなが、楽しい時間を一緒に過ごしたいと思ひます。

カボチャ島の人、みんな歌が大好きです。おじさんも大好きです。時々でたらめな歌を作って歌うこともあります。

さて、今日は名刺代わりに「大芝小学校の歌」というやっばりでたらめな歌を作ってきました。まず、今日はいっちょうこの歌からスタートです。

(歌 ロックンロール大芝すたーと)

さて、カボチャ島がどんな島かみんな知っているかな。知るわけないよね。

じゃあ、ここでカボチャ島がどんな島で、どんな風にしてできたのか知りたいよね。知りたいよね。知りたいよね。知りたいよね??

カボチャ島が昔どんなだったか。(それを歴史といひます。)いまだどんな島になっているのか、皆さんがどうしても知りたいというので、(ご要望に答えて)ちょっとだけ、お話ししたいと思います。

まず、我カボチャ島のことをわかりやすく歌にしましたので、この歌を聞いて下さい。題して「カボチャソング」さびと一緒に歌ってね。サビってわかるかな。鉄にできるものじゃないよ。

(歌 カボチャソング)

実施日 : 98年10月31日(土) 9:30~ 11:30

場 所 : 大芝小学校体育館(広島市西区大芝町)

内 容 : 前半で環境クイズを行い、後半で「カボチャ島物語」を実施  
環境クイズは、OHPでクイズをだし、3タクで正解を答える。優秀者にはPTA手製のメダルを授与。正解を言うときには簡単な解説をつけるよう配慮する。「カボチャ島物語」は、OHPで様々な映像を見せながら、環境問題について考えるきっかけ作りを行うもの。途中でギター伴奏で歌をはさむ。

実施者 : 竹本伸・戸野直之・久我教之

ロックンロール大芝 (詞/曲 竹本 伸)

眠い目をこすりながら、やってきたんだ  
オンボロワゴンをとばし、54号を  
校長先生もまっているぜ マイホームタウン大芝  
次のカーブを曲がれば、見えてくるよ  
めざすは我が母校 大芝小学校  
今日はカボチャ島のおじさんが 歌いに来たよ

ゴー 大芝ゴーゴーゴー  
大芝ゴーゴーゴー 大芝ゴーゴーゴー  
ゴーゴーゴー 大芝ゴー(繰り返し)

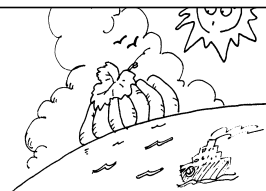
ドングリまなこのあいつと  
お茶目なあのこと  
ちょっときれいな先生が  
勉強してるぜ  
ここにいる子はみんな 元気一杯  
目の輝きまして、走り回っている  
空がこんなに高い マイホームタウン大芝

(繰り返し)

ドングリまなこのあいつと  
お茶目なあのこと  
ちょっときれいな先生が  
勉強してるぜ

ここにいる子はみんな 元気一杯  
目の輝きまして、走り回っている  
空がこんなに高い マイホームタウン大芝

(繰り返し)



## カボチャソング (カボチャ人類学入門)

原作 / 川原田 徹  
詞 / 曲 竹本 伸

(セリフ)

でっかいかぼちゃがあったのである  
青々とみずみずしいかぼちゃだったので、  
やがて、かぼちゃの中にいのちが芽生えたのである  
虫が生まれ、魚が生まれ、カエルが生まれ、  
鳥が生まれ、けものが生まれ、人が生まれたのである  
かぼちゃ島のかぼちゃ人は、かぼちゃの中に住んで、  
かぼちゃを食べてくらしただのである  
かぼちゃ島はだんだんにぎやかになったのである

かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ  
かぼちゃ人のすんでるかぼちゃ島

- この大海原のそのまた向こう  
かぼちゃの顔した人がすむという  
その名もかぼちゃ島 形もかぼちゃ島  
すてきな夢の国  
幸せ預ける 幸福相互銀行  
足りなくなったら出しにいこう  
温泉に入りたければかぼちゃ温泉  
芝居見たけりゃかぼちゃ座

かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ かぼちゃ  
かぼちゃ人のすんでるかぼちゃ島 (繰り返し)

- かぼちゃ島が大繁盛した時代があったのだ  
世界中からたくさん船がやってきて  
かぼちゃ肉や かぼちゃ粉や  
かぼちゃ酒を積んでいった  
かぼちゃ人は大もうけたそうな  
高いビルが建ち並んだ  
掘りつくされて島の中はからっぽになって  
かぼちゃ島は死にかけた  
(繰り返し)

PAGE 1

Capo: 0  
play: C

カボチャソング (かぼちゃ人類学入門)

2. 4 番は次の通り

2. 3 番は次の通り

2. 4 番は次の通り

PAGE 2

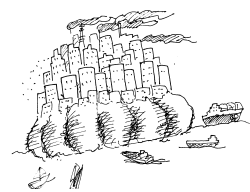
さて、歌の中に、カボチャ島が死にかけた時があったとありました。その頃のカボチャ島がどんなに大変だったか、どうしてそうなったのか、少し詳しくお話したいと思います。

私たちはもうあんな島になるのはこりごりです。思い出したくもないのだけれど、みんなが聞きたいというものだから、ちょっと話します。皆さんの住む町や村もあんな風になって欲しくないのです。だからこそ、本当はかぼちゃ島の昔の事を知って、そうならないようにするにはどうしたらいいのかを考えて欲しいのです。

カボチャ島は食べられるものだから、歌にあったようにカボチャ肉やカボチャ粉やカボチャ酒を売って大儲けしたことがあったのです。大儲けをして、カボチャ島には高いビルが建ち並び、町には珍しい品物がたくさん並び、せまいカボチャ島の中をカボチャからつくったカボチャガソリンで走る車がたくさん走り回り、とっても便利になりました。

それで、私たちは幸せになった、豊かになった、よかったよかったと思っていたのです。でもカボチャガソリンをつくるのにはたくさんのかぼちゃ肉が必要で、ビルを作るためには、たくさんのかぼちゃからできたものを売らなければならなかったのです。あんまり働くのが好きでないはずの私たちが、あくせく働かなければならなくなり、いつのまにか「働く」ことが目的となってしまって、何のために働いているのかわからなくなってしまいました。働けば働くほどもっともって働かなければならなくなったのです。働き過ぎて死ぬ人もでてきました。幸せになるためだったはずなのに、働くことで不幸せになってしまいうようになってしまったのです。

さて、その頃の島がどうだったかという、.....空気が汚れ、そのために森の木は枯れ、こんな状態になりました。



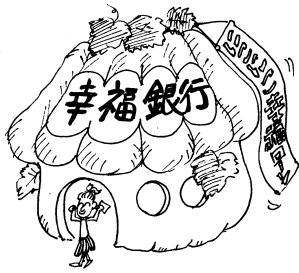
## OHP（松枯れ・酸性雨） 説明を行う。

どうしたらいいか、みんなで考えました。薬もまいてみたけどダメでした。「お金持ちになったんだからいいじゃないか」という人もいましたが、ほとんどの人はお金をいっぱいもらっても、（それはちょっとはうれしかったのですが）なにか満たされないものがありました。小さな島がなくなってしまったら、私たちは生きていけないんだということに気がきました。島からたくさんものをとってしまうことは、私たちの体から血や筋肉やそして心を吸ってしまうのと同じことで、絶対に無理だったのです。

その頃、海はどうだったかという話をしましょう。

たくさんものがあるということは、たくさんいらぬものがあるということで、たくさんいらぬものがあるということは、たくさんゴミがあるということなのですが、その頃、私たちはこんな簡単なことに気が付きませんでした。たくさんゴミはどんどん海に流れていきました。海はゴミだらけになってしまったのです。実は、カボチャ島でできたものは、全てカボチャでできているので、埋めれば全てカボチャに戻るのです。私たちのおじいさんやおばあさん、いえいえ、お父さんやお母さんはみんなそうしていました。だから、カボチャ島にゴミはなかったし、埋めることでカボチャ島もかえって元気になっていたのです。ところが、よその国のものがたくさんくるようになると、その中にはプラスチックとかいう私たちの島の中でできたものとは違うものがあって、それはどこに捨てても、いつまでもそのまま残ってしまおうもので、それがどんどん増えてしまったのです。そのために、海の生き物たちが、大変な目にあってしまいました。

## OHP（海洋生物の被害） 説明を行う。



私たちは、海の生き物たちとは友達だったので、友達がこんな風になってしまうということは、自分がこうになってしまうことと同じで、だからとても悲しくなりました。カボチャ人は一生のうちで、数えるほどしか怒らないのですが、さすがにその時は、みんなが怒りました。そして言いました。

「こんなゴミになるもの、最初からいらぬ。ものがたくさんあるよりもともだちがたくさんいるほうが、絶対に幸せだ。」って。

その頃、幸福相互銀行では、幸せがたくさん引き出されていました。もうほとんど残っていなかったそうです。その代わりに、お金はたくさん預けられていたそうですが、お金と幸せは交換できないので、やがていくらお金を預けても何も引き出せなくなってしまったのです。

海のゴミをちょっと持ってきました。

いろいろあります。説明しましょう。（持ってきたゴミの説明を行う。）

ちょっと珍しいものを紹介しましょう。（レジンペレットを見せ、その説明を行う。）

さて、森の話に戻りましょう。

カボチャ島が大金持ちになった頃、たくさんの方がやってきて、いろいろなおいしいそうな話を島の人たちにしました。おいしいと言ってもケーキの話じゃありません。大人の世界では、お金がたくさんもらえそうな話を「おいしい話」というのです。でも「おいしい話」というのは、たいてい話をする人の方がおいしいことが多いのです。

さて、そんな難しいことはよしとして、日本という国の人たちはそんなことは慣れっこらしいのですが、カボチャ島の人たちはすぐ人を信じてしまうので、おいしいというだけで「いいよ」と言ってしまう人もいました。そういうおいしい話をした人の中に、ゴルフというスポーツをするところをつくらうという人がいました。

「ゴルフっていうのはとっても楽しいよ。」っていったのです。

カボチャ島はすぐにいいよと言いました。

それで、島の一番景色のいいところにゴルフをするゴルフ場というのが作られました。

ブルドーザーという車がやってきて、森をどんどん壊していきました。森からは友達だった鳥たちがいなくなりました。

カボチャ人は誰もゴルフというものを知りませんでしたから、誰も遊びには行きませんでした。いえ、行こうと思ってもそこに入るにはすごくたくさんのお金がいるようになっていたのです。よその国のお金持ちの人ばかりが来て遊んでいました。



やがて、そこから出てくる水も汚くなって、カボチャ島の水は飲めなくなってしまったのです。小さい子どもたちが泣きだしました。

「ぼくたちの遊べる森がなくなってしまったよう。」

さっき言ったようにそこに入るにはすごくたくさんのお金がいるのです。私たちは考えました。

「もしかしたら私たちはとんでもないことをしているぞ。ゴルフ場は大人の遊び場。森は子どもの遊び場。大人が子どもの遊び場をとるなんて、大人らしくないなあ。」

そして、私たちの森を返してくれるよう、ゴルフ場の人に頼んだのです。でも、ゴルフ場の人はいませんでした。

「ここはワシが買ったのだからワシのものだ。もし、かえしてくれというのなら、ワシが土地を買ったお金とゴルフ場を作ったお金を返してくれ。」

初めはそうのように全然聞いてくれなかったのですが、儲からなくなると、さっさと引き上げてしまいました。木がなくなって、ひどかったのだけれど、カボチャ島の大人たちは、「子どもたちにひどいことをした。罪滅ばしに元に戻そう。」と、一生懸命やったので、やがて、森に子どもたちの声に戻るようになりました。

そしたら、水もきれいになりました。子どもたちの歌声が森から聞こえます。ホーム（歌）

この森には、たくさんの友達がいます。かぼちゃ人じゃなくて、木や動物の友達です。一人紹介しましょう。「ドン君」です。では「ドン君」の登場！（OHPでドン君の写真を見せる。）

僕達とドン君は大の仲良しです。ドン君にはテーマソングがありますので、その歌で、ドン君を紹介しましょう。（ドン君に会いにいこう（歌））

この国には自転車ってありますか。カボチャ島は小さいので、車は本当はいらないのです。車だと空気も汚れます。自転車だと、空気も汚さないし、第一、まわりの景色がゆっくり見れるよね。さあ、みんなで、自転車に乗ろう。（自転車に乗って（歌））

カボチャ人は、たくさん売って、たくさんの物を使うとどんなことになるかわかったので、今はいるだけしかカボチャをとらない、いるだけしかカボチャを売らない、元に戻る量しかとらない、

カボチャ島を大切にしたいから、楽しく暮らすことを選んだのです。

カボチャ島の人々は、みんな9時になる前に寝ます。9時まで起きていると「9じおばけ」というこわいこわいおばけが起きている人の前にだけ出てくるのです。（9じおばけのらばい（歌））

カボチャ島では、  
楽しく暮らすということは、みんなとなかよく暮らすということ、  
楽しく暮らすということは、自分の町を好きになるということ、  
楽しく暮らすということは、生きていてよかったと思うこと、

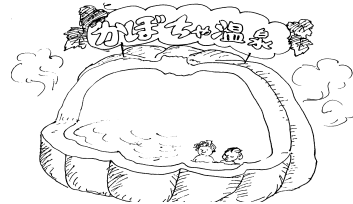
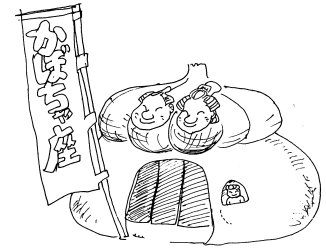
カボチャ島では、  
生きるということと、食べるということと同じ言葉、  
生きるということと、勉強するということと同じ言葉、  
生きるということと、愛するということと同じ言葉、

ということは、  
生きるということと、食べるということと、勉強するということ、愛するということが同じと言うこと、

何か変だね。  
でもそうなんだからしかたない。

カボチャ島は島だけど、どこにあるかよく考えてね。  
ヒント 小さな島だけど、とっても大きなところにあるんだよ。  
じゃあ、またね。

カボチャソング（歌）



これにておしまい

とりお しんがあ そんぐ ていいち  
やあず

